

今後育成すべき担い手像（林業分野、水産分野において意見聴取）

高齢化・人口減少により、農林水産業・農山漁村を支える担い手不足が深刻化しており、産業施策として農林水産業を支える専門的な人材だけではなく、地域施策として農山漁村を支える兼業的な人材やそれらを支える人材も、併せて確保・育成することが必要である。

専門的な人材は、独立・自営就業だけではなく、法人等への雇用就業も選択肢となり、必要とされる知識・技術も異なるほか、田園回帰と働き方の多様化など社会情勢の変化を踏まえ、今後育成すべき担い手像を明確化し、それぞれに応じた支援体制を構築し、具体的な施策を展開する必要がある。

1 生産から消費までを見据え、様々な経営リスクに柔軟・的確に対応できる経営人材

- 横◆異分野、異業種へ広く関心を持ち、その付加価値を高めるために適用可能な要素を自ら探索し、考え続けられる起業家人材
- 横◆サステナビリティに貢献できる人材
- 林◆経済として林業を成長産業化に結び付けることができるプロの人材
- 水◆漁業以外の収入源確保を目指す漁業者
- 水◆食という観点で漁業を捉え、需要を意識できる漁業者

2 最先端技術を積極的に取り入れ、生産効率を向上できる人材

- 横◆自ら新たな技術や方法を工夫し、農林水産業の現場の活動の中で実践できる人材
- 横◆京都の食の文化的価値を高める視点や知識を持った人材
- 林◆責任をもって現場作業をやり遂げる人材
- 水◆漁業を生業として真剣に考え、生産性向上や高付加価値化などを目指す漁業者
- 水◆資源管理に積極的に取り組む漁業者

3 様々な形で農林漁業への関わり、農山漁村を支える多様な人材

- 横◆農業と林業、農業と漁業などマルチな一次産業の担い手
- 横◆専業者だけでなく、専業者を支えるセミプロのような人材
- 林◆社会的責務を自覚する人材
- 林◆半農半林など地域を守ることができる人材
- 水◆農山漁村のコミュニティに積極的に参加し、その維持や発展を目指す漁業者及び関係者
- 水◆漁業について社会に発信することで漁業への理解や漁食普及を促進する漁業者

4 自らの特性を活かし、共に活躍する共生社会を実現する人材

横◆地域で産業や雇用を生み出し、地域や従業員とともに成長を目指す志のある経営者

横◆京都はインバウンドや世界に接続できる都市部があり、それらとローカルな地域とを掛け算した事業が作れる人材

横◆I ターンした人と地域の人が Win-Win の関係を構築するためのコーディネーター

水◆農山漁村のコミュニティに積極的に参加し、その維持や発展を目指す漁業者及び関係者

水◆環境保全、海難救助など海の守り人として公益な役割を果たす漁業者

担い手を確保・育成するために必要な体制及び具体的方策

1 農林漁業人材育成センター（仮称）による誘導、相談・体験から実践研修、就農・就業支援及び経営発展に至る一貫したサポート

今後育成すべき担い手を確保するため、これまで農業、林業、漁業の分野それぞれ独自に実施してきた人材確保・育成施策を、横断的に誘導から相談・体験、実践研修、就農・就業支援、経営発展の各段階を一気通貫し、効率的に支援する体制を整備することにより、他府県にはない魅力ある研修体系を構築し、農林漁業の成長産業化と農山漁村の活性化に資する人材を育成する。

横◆分野横断的に担い手を育成していくのは、新鮮で良い取り組み

横◆人材確保、育成の各フェーズでどう支援するか検討し、それに応じた広報戦略

農◆農業大学の入学前、あるいは卒業後も含めたフォローアップ、段階的な支援

（１）誘導段階

横◆生涯クリエイティブセンターと連携した定年前世代へのアプローチ

農◆積極的な魅力発信

農◆若い人へのアプローチ

水◆定住を見据えた情報（モデルプラン）のとりまとめ及び提供

（２）相談・体験段階

横◆理系女子や子供世代に対し、技術は昔と異なり、スマート農業などは体力が必要ないと、変化していることを伝える施策

農◆積極的な魅力発信

水◆定住を見据えた情報（モデルプラン）のとりまとめ及び提供

（３）実践研修段階

農◆独立した人が孤立せず、お互い支え合える体制

（４）就農・就業支援段階

横◆人事労務管理のスキルアップなど雇用型の経営に踏み出すための支援が必要

農◆雇用就農に特化した施策、法人から独立を目指す人に対する支援、地域にあったサポート、地域毎の違いを踏まえた施策

農◆農大卒業後の伴走支援、定着率を高めるための伴走支援

農◆実践農場や農大の卒業生同士がつながりを持ち続ける手段

農◆独立した人が孤立せず、お互い支え合える体制

水◆漁業経営や副業開始などに関する相談窓口の設置

（５）経営発展段階

横◆志の高い人同士の出会いの場が必要
農◆実際に経営されている方が、感じていることや大切にしていることを聞く
農◆実際に経営されている方が、感じていることや大切にしていることを聞く
林◆林業事業体の経営基盤強化のための府の伴走支援
林◆魅力ある林業事業体の育成
林◆若者が情報源とする媒体による情報発信

２ 産学公民による育成すべき担い手像に応じた多様で専門的な教育の実施

府農林水産技術センターや「農林漁業人材育成ネットワーク（仮称）」と連携し、多様な教育メニューを効果的・効率的に提供する。

（１）高度経営人材

横◆農林水産業の課題解決策を持つスタートアップ企業との協働機会の創出
農◆経営者会議のメンバーが農大に行き、学生との交流や就職先としてPRする機会
農◆技術的なサポートより情報提供
林◆儲かる林業（新しい林業）を展開するための知識・技術の習得
水◆水産資源を活用した副業の経営、消費者ニーズの把握、情報発信方法など、多様な知識・技術の習得と、それらに関する幅広い人脈の形成をサポート

（２）高度技術人材

横◆異分野、異業種への積極的な情報発信、積極的な交流、外部講師による講義や体験授業の積極的な導入
農◆経営者会議のメンバーが農大に行き、学生との交流や就職先としてPRする機会
林◆林業で安全に働くことのできる技術開発
林◆若手と熟練者をつなぐコミュニケーション豊かな中堅の育成
水◆水産資源を活用した副業の経営、消費者ニーズの把握、情報発信方法など、多様な知識・技術の習得と、それらに関する幅広い人脈の形成をサポート

（３）様々な形で農林漁業に関わり、農山漁村を支える多様な人材

横◆I ターンの人が、情報共有や交流を増やす動きへの支援
横◆卒業生が自ら若者を教育、育成したいと思う機関、人材のエコシステム
農◆新規参入がコミュニティに参画できる体制づくり
林◆50 歳代の転職者等が短期に資格を取得できる研修の実施
林◆地域に残る後継者をピンポイントで育成
林◆半農半林での収入モデル提示、地域で暮らす生活力を身につけられる政策
林◆移住者を迎え入れる風土、移住者・家族・地域の人たちが住みやすい地域づくり
水◆公益な役割を果たすための研修や支援の創出

（４）自らの特性を活かし、共に活躍する共生社会を形成する人材

横◆子育て世代、障がい者に適した新規農法の積極的な活用
農◆新規参入がコミュニティに参画できる体制づくり
水◆公益な役割を果たすための研修や支援の創出

３ 魅力ある教育環境の整備

最先端技術や高度な専門技術を習得でき、若者をはじめ農林漁業への従事を希望する多様な人材にとって魅力ある教育環境を整備する。

（１）農業大学校の機能強化

農◆一般的な社会教養や周りに慣れて同じような作業ができることが必要。
農◆スマート技術の活用や健康機能性、環境負荷低減などの新たなコース・カリキュラムの設定
農◆Ｊクレジットをはじめとした未利用資源の収益化についてのカリキュラム
農◆近年の新規就農の相談者に多く見られるのが有機農業志望者。就農希望者のニーズを踏まえた学びの場の充実
農◆地域にあったサポート
農◆農業の基礎を学び地域とのつながりをもつ短期コース
農◆在学中は近隣市内に居住し、地域との連携やコミュニケーションを図れる仕組み

（２）林業大学校の機能強化

林◆儲かる林業（新しい林業）を展開するための知識・技術の習得
林◆林業で安全に働くことのできる技術開発
林◆若手と熟練者をつなぐコミュニケーション豊かな中堅の育成
林◆原木ではなく府の木材商品のブランド化
林◆インバウンドが欲しがる木材商品開発

（３）海の民学舎の機能強化

水◆座学研修及び実地研修の充実
水◆若手漁業者を対象とした特別講座の設置
水◆農林水産技術センター（海洋センター）との一体的運営
水◆地域との交流活動の拡大

(4) その他

- 農◆先端技術に任せられる部分は任せられるような技術開発がもとめられる
- 農◆試験場におけるデータや良い技術を提供する場
- 農◆農業の基礎を学び地域とのつながりをもつ短期コース
- 農◆独立した人が孤立せず、お互い支え合える体制
- 林◆原木ではなく府の木材商品のブランド化
- 林◆インバウンドが欲しがる木材商品の開発
- 水◆スマート技術やフードテックなど、漁業の専門技術を習得するための施設整備
- 水◆資源管理に関する研究の推進